

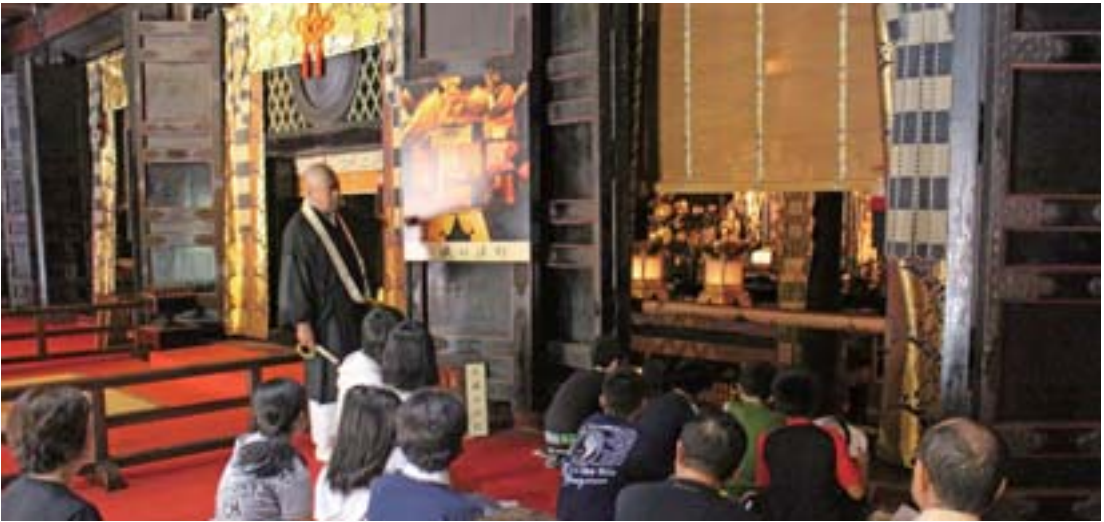
一隅を照らす運動総本部だより No.32



一隅を照らす運動ホームページアドレス
<http://ichigu.net>



東日本大震災被災児童支援事業



延暦寺根本中堂にて福恵総本部長より法話があった（8月1日）

平成25年8月1日、2日、3日の日程で、一隅を照らす運動総本部主催による、東日本大震災被災児童支援事業の交流会が開催された。

この交流会は、東日本大震災で被災した東北の子どもの心のケアを目的として企画

されたもので、今回は、福島県相馬市の小学4年生から中学3年生の男女あわせて11名が参加した。

日程中、比叡山延暦寺、三十三間堂の参拝のほか、清水焼絵付け体験やテーマパーク見学なども行い、子どもたちは、夏休みの思い出の1ページとなる有意義な時間を過ごした。



妙法院門跡、三十三間堂を参拝（8月3日）



清水焼の絵付け体験（8月1日）

■一隅を照らす運動推進大会■

○三岐大会



三岐教区本部（森喜良教区本部長）では、平成25年6月9日に岐阜県揖斐郡の東光寺（坂本実仁支部長）を会場に推進大会を開催し、信徒約150名が参加した。

第1部では、教区内寺院住職ら17名出仕のもと法要が厳修された。法要後、森教区本部長、佐藤文雄宗議会議員、福惠善高総本部長よりそれぞれ祝辞が述べられた。



第2部では、延暦寺一山伊崎寺住職上原行照師による法話と大護摩供が行われた。上原師は自身の千日回峰行に触れ、冗談を交えながら目標を持ち続けることの大切さを説かれた。大護摩供では、千数百本の護摩木を焚かれ、お加持を参加者に授けた。

最後に同教区より浄財200,000円が福惠総本部長に寄託され閉会となった。

○東京大会

東京教区本部（杜多徳雄教区本部長）で

は、平成25年6月14日に台東区の浅草公会堂で一隅を照らす運動東京大会を開催した。

第43回の今大会には雨の中にもかかわらず約1000名の参加者が集った。



第1部では、福聚教会東京本部による御詠歌と天台声明音律研究会による声明、天台雅楽会による雅楽演奏、神田秀順上野輪王寺門跡門主導師のもと四箇法要が厳かに行われ、読経の聲が会場いっぱいに鳴り響いた。

続いて、阿純孝一隅を照らす運動理事長、武覚超副理事長、福惠善高総本部長よりそれぞれ祝辞があった。その後、各支部から推薦された一隅を照らす運動実践者15名が杜多教区本部長より表彰された。

第2部では、聖路加国際病院小児総合医療センター長細谷亮太氏による「いのちの言葉」と題した講演が行われた。



細谷氏は、いのちの大切さを病気と闘う子供のビデオを放映しながら講演された。細谷氏は「私たちが、生きとし生ける山川草木と一緒に生きているという感覚がとて

も重要」と話され、日本人特有の感覚を日々感じながら生きて欲しいと語られた。

○神奈川大会



神奈川教区本部（溝江光運教区本部長）では、平成25年6月18日に神奈川県横浜市の神奈川県立音楽堂を会場に、一隅を照らす運動神奈川中央大会を開催し、檀信徒ら約1000名が参加した。

第1部では、溝江教区本部長導師のもと法要があり会場全体で唱和した。続いて、溝江教区本部長、福惠善高総本部長が挨拶を述べられた。その後、露の団姫師による「一隅を照らす落語」があり、会場全体が笑いの渦に包まれた。



第2部では、東京大学名誉教授養老孟司氏による「悩むのも才能のうち」と題した講演があり、養老氏は昆虫採集やユダヤ教の慣習などを時折冗談を交えながら話された。養老氏は「普段の生活で悩んだら時間のスケールを1日を1年、1年を10年と大きくして考えると楽になる」と述べられ参

加者にアドバイスをされた。

第3部では、一隅を照らす運動報告として、溝江教区本部長から福惠総本部長に大会会場で集められた浄財が寄託され閉会となった。

○兵庫大会

兵庫教区本部（雲井明善教区本部長）では、平成25年6月24日に兵庫県篠山市のユニトピアささやまレイクプラザレイクホールを会場に、一隅を照らす運動推進兵庫大会を開催し、檀信徒ら約300名が参加した。

はじめに、一隅を照らす運動実践者2名による実践の発表があり、その後、実践者5名1団体に福惠善高総本部長より総本部長賞の表彰が行われた。



また、浄土真宗本願寺派専福寺住職松島法城師による節談説教「和泉式部の廻心」～仏さまからのほたらき～と題した講演が行われた。節談説教とは、難解な教えを文字の読めない人々に判りやすく説くために、語るがごとく歌うがごとく、聴衆の情念に



訴えかける浄土真宗の布教法であり、会場の方々は聞き入っていた。

講演が終わった後、兵庫教区第3部檀信徒会会長竹川弘氏による挨拶で終了した。

○東海大会

東海教区本部（中村廣文教区本部長）では、平成25年6月29日に名古屋市千種区の覚王山日泰寺普門閣を会場に、東海教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約150名が参加した。



推進大会では、舎人経昭事務局長より開式の辞があり、中村教区本部長、可児光永宗議会議員、福恵善高総本部長より祝辞があった。

講演では落語家露の団姫師を講師として迎え「一隅を照らす落語」が披露された。まくらで、自身が天台宗の僧侶であることを話され、坊主頭姿を披露する場面があり参加者は落語に聞き入っていた。

最後に、東海教区より会場で集められた浄財の寄託があり閉会となった。



○南総大会

南総教区本部（浅野玄航教区本部長）では、平成25年7月10日に千葉県いすみ市の岬ふれあい会館を会場に、南総教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約750名が参加した。



推進大会では、南総教区の方々による御詠歌のお唱えの後、南総教区仏教青年会による法楽が行われた。また、南総教区仏教青年会の行うタイ植林事業など活動についての説明もあった。主催者として浅野教区本部長、花崎隆南総教区檀信徒連合会会長が挨拶され、細野舜海宗議会議員、福恵善高総本部長より祝辞があった。

講演の第1部は、落語家露の団姫師による「一隅を照らす落語」が披露され、会場は笑いに包まれていた。

第2部は、オペレッタ作家・指揮者、アイリッシュハープ奏者の永山友美子氏が「愛と優しさで人は育つ」と題し、アイリッシュハープの演奏と自身の話を織り交ぜながら講演された。講演の中で、「人は誰



しも他人に認められたいと思っている。良い事をした時は愛情をこめて言葉に出して伝えることが大切」と語られた。最後にどんな人にも必ず別れが訪れると話し、「千の風になって」を演奏され終了した。

○九州東大会

九州東教区本部（河野英信教区本部長）では、平成25年9月3日に延暦寺会館を会場に、九州東教区一隅を照らす運動比叡山大会を開催、約200名の参加者が集まった。



まず、主催者として河野教区本部長より挨拶があり、江上敬司郎九州東教区檀信徒会会長が挨拶され、福恵善高一隅を照らす運動総本部長、阿部昌宏天台宗参務財務部長より祝辞があった。



講演寄席として落語家、露の団姫師による「強運の人・慈覚大師」が披露され、会場は笑いに包まれていた。

また、一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」の紹介もあり、当日会場を集められた募金は地球救援事務局に寄託さ

れた。

ニュース News

◎一隅を照らす運動理事会を開催



平成25年6月26日、天台宗務庁（滋賀県大津市坂本）において一隅を照らす運動理事会が開催された。

理事会の冒頭では、平成25年6月21日に御遷化された小堀光詮前会長の回向法要が森川宏映副会長大導師のもと、しめやかに営まれた。小堀前会長は、平成元年に一隅を照らす運動副会長に就任され、平成9年から本年まで会長を務められた。

また、会議では平成24年度一隅を照らす運動の事業報告、各会計の決算等が審議・承認された。

◎一隅チャンネルを開設

平成25年7月11日より、一隅を照らす運動ホームページに一隅チャンネルを開設いたしました。一隅を照らす運動総本部より様々な活動を動画でご紹介します。

一隅チャンネルページ (<http://ichigu.net/video/index.html>) よりご覧ください。

◎「一隅を照らす運動45周年記念大会」実施決定

平成26年に一隅を照らす運動が45年目を迎えるにあたり、去る6月26日開催の理事会において、「一隅を照らす運動45周年記

念大会」が下記の日程で開催されることとなった。内容・詳細については、今後、一隅を照らす運動企画運営委員会等で決定していく予定。

記

開催日 平成26年11月12日（水）
 参加人数 3,000人
 会場 郡山ユラックス熱海
 住所 〒963-1309
 福島県郡山市熱海町熱海2-148-2
 電話 024-984-2800
 ファックス 024-984-2911

◎第12回心のつどいin比叡山



第12回「心のつどいin比叡山」（一隅を照らす運動総本部主催）を比叡山延暦寺会館で開催。7月14日、15日の一泊二日の日程で、一般公募で募った男女23名が参加した。

まず開講式では、福恵善高一隅を照らす運動総本部長導師による「おつとめ」があり、その後、坐禅止観などの説明があった。

第1講では「慈覚大師円仁について」と題し、延暦寺一山真藏院住職森川宏映探題大僧正による法話があり、参加者はありがたい法話に聞き入っていた。

第2講では「強運の人慈覚大師」と題し、落語家露の団姫師による落語があり、会場は大いに盛り上がった。

翌日は、早朝5時半より、研修生は根本



中堂で、坐禅止観を実修。その後、大書院内の清掃、延暦寺会館でのお写経に、それぞれが熱心に取り組んでいた。



また、総本部長より10年連続参加された研修生に、表彰状と記念品が手渡された。

ある研修生は「日々の生活で忘れがちなの、人の原点を改めてみつめ直すことが出来た」と感想を述べ、またある研修生は「今回の経験をいかして、周りの人に少しでも一隅を照らす人でありたい」と語っていた。

◎四国教区で一隅を照らす運動教区研修会を開催

平成25年7月22日～23日、宇和島国際ホテル（愛媛県宇和島市）において、四国教区総合研修会が開催され、7月22日（月）に「一隅を照らす運動総本部からのお願い」と題して、教区内から集まった住職・教師ら約20名に対し講義を行い、はじめに福恵善高総本部長より挨拶として講義の趣旨が述べられた。

特定非営利活動法人アムダより、ボラン

ティアセンター事務局長補佐(広報室兼任)谷佳世氏を講師に迎え、アムダが作成したマニュアルを資料に、災害時の対応などの説明があった。



その後、総本部より支部活動の活性化について説明があり、総本部の行っている活動について質問が出るなど、意見交換が活発になされた。

◎日本ユニセフ協会へ浄財を寄託

平成25年8月4日比叡山宗教サミット26周年「世界平和祈りの集い」(比叡山延暦寺)の開催に先立ち、公益財団法人日本ユニセフ協会への募金寄託式が行われた。



この募金は毎年8月に行われている「天台青少年比叡山の集い」に参加したリーダーと小中学生が出し合った募金と、全国宗徒から寄せられた浄財を合わせたもので、総額は300万円。

寄託式では、天台青少年比叡山の集い参加者の代表より森川宏映一隅を照らす運動副会長へ目録が手渡され、引き続き森川副

会長から早水研公益財団法人日本ユニセフ協会専務理事に目録が手渡された。

◎山口県豪雨災害義援金を寄託

平成25年8月5日、一隅を照らす運動総本部は7月に発生した山口豪雨の災害支援として、山口県庁を訪問し、緊急救援引当金から義援金を寄託した。



山口県庁へ福恵善高総本部長と地元山陰教区興隆寺支部長市原修俊師が赴き、健康福祉部渡辺修二部長と面談し、総本部からの義援金30万円を寄託、今回の豪雨による被災状況の説明を受けた。

山口県では、過去五年の間に同様の災害が3回起きているが、今回の豪雨災害は、今までに経験したことがない規模の被害が出ており、復旧にはかなりの時間がかかると見方が強まっている。今後は迅速な災害対策が求められている。

◎島根県豪雨災害義援金を寄託

平成25年8月9日、一隅を照らす運動総本部は7月に発生した島根豪雨の災害支援として、島根県庁を訪問し、緊急救援引当金から義援金を寄託した。

島根県庁へ福恵善高総本部長が赴き、防災部大國羊一部長と面談し、総本部からの義援金30万円を寄託、今回の豪雨による被災状況資料をもとに説明を受けた。

島根県では、特に津和野地区の被害がひどく、復旧にはかなりの時間がかかるとの



見方が強まっている。

◎秋田県・岩手県へ義援金を寄託



平成25年8月26日に一隅を照らす運動総本部は8月に東北地方で発生した豪雨による災害支援として、被害の大きかった秋田県、岩手県の各県庁を訪問し、緊急救援引当金から義援金を寄託した。

秋田県庁へは福恵善高総本部長が赴き、梅井一彦健康福祉部部長と面談し、総本部からの義援金30万円を寄託、今回の豪雨による被災状況の説明を受けた。

次に訪れた岩手県庁には、福恵善高総本



部長と千葉亮賢陸奥教区本部長が赴き、根子忠美保健福祉部部長に総本部からの義援金30万円を寄託した。

両県とも今回の災害によって今までに経験したことがない規模の被害が出ており、今後は迅速な対応が求められる。

◎台風18号災害義援金を寄託

平成25年9月16日早朝に近畿地方に最接近した台風18号による災害への支援を、一隅を照らす運動総本部は9月30日、京都府庁と滋賀県庁を訪問し、義援金を寄託した。

京都府庁には、福恵善高総本部長と原田誠俊京都教区庶務主任が赴き、山口寛士健康福祉部部長と面談し、総本部からの義援金30万円を寄託、今回の豪雨による被災状況の説明を受けた。

次に訪れた滋賀県庁には、福恵善高総本部長と長山慈信滋賀教区本部長が赴き、中井清健康福祉部次長より被災状況の説明を受け、総本部から義援金30万円を寄託した。

両府県の担当者は「大きな災害は過去に無く、多くの被害が出ており、今後は復旧への迅速な対応が求められる」と語った。なお、今回の義援金は被災された方々に贈られる。

